

パサージュ・たま 第3号

発行元 パサージュ・たま運営委員会
 連絡先 多摩区登戸1775-1
 多摩区役所保健福祉センター
 地域保健福祉課
 ☎935-3292 FAX935-3276

パサージュ・たま取組結果

1 目的

障害に関する活動をしている団体・作業所等が、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、作業実演、展示等を行うことにより、障害者団体間及び当事者間の交流を図るとともに、障害福祉に関する理解を広く区民に深めていく。



2 開催場所

多摩区役所1階アトリウム

3 開催日

4月22日(火)、5月15日(木)、6月 3日(火)、7月17日(木)、9月 2日(火)、
 10月23日(木)、11月11日(火)、12月 2日(火)、1月15日(木)、2月 3日(火)、3月26日(木) 計11回開催

4 参加団体

いっぽ舎、多摩ワークショップ、多摩川あゆ工房、夢花工房ぼばい、クラフトヌプリトック、工房和丘、川崎きた作業所、はびわわーく、はなもも、はなみずき、あかね、なしの実、多摩川の里 身体障害者福祉会館、多摩みのりの会、はぐるま共同作業所、kokonara、多摩区障害者地域自立支援協議会、川崎市多摩区社会福祉協議会、多摩区身体障害者児団体協議会、(事務局)多摩区役所地域保健福祉課 延べ126団体の参加

5 新規団体

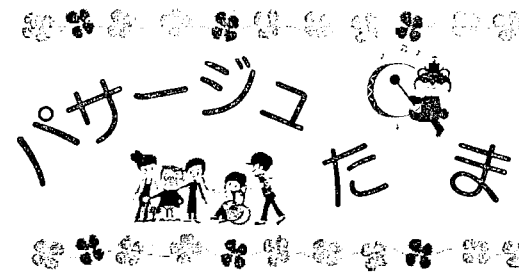
社会福祉法人 弥生会 エンジョイ

6 運営委員会

26年5月8日(木)、27年2月10日(火)開催

7 広報

ホームページ、広報紙(26年11月~12月に町内会回覧を実施)、市政だより等



『パサージュ・たま』は、障がいに関する普及・啓発のために「活動の場を広げたい!」「少しでも多くの人に知ってもらいたい!」という想いをもちながら福祉活動に関わっている人々の声をきっかけに、平成20年3月から始まった事業です。

総合庁舎1階のアトリウムを利用し、月1回程度、区内の障がい者団体や生活・就労支援を行っている障がい者施設、地域活動支援センター、当事者団体の活動紹介や作品展示、また、障がいに関する相談先の紹介も行っています。

ここを訪れた皆様が、楽しみながら障がいに関する理解と関心を深めていただけるよう、これからも工夫してまいります。



パサージュ・たま運営委員会

委員長 安田 孝高

月に一度(8月は除く)、多摩区庁舎のアトリウムが華やぐひとときがあります。

障がい当事者とその方達を支援する施設・団体が、日頃の成果を発表し、情報を発信し、福祉相談をお伺いする憩いの場:

『パサージュ・たま』です。

「パサージュ」とは、フランス語で「ガラス屋根の遊歩道」のことです。区役所の1階を遊歩道に見立てて、区民の皆さまに楽しい時間を過ごしていただきたいという事でこの名前が付けられ、活動を行ってきました。

多くの方々の御支援・御協力に感謝するとともに、今後多摩区の地域に根ざした活動を展開していけるように努力していきたいと考えております。

多摩福祉事務所

所長 佐藤 宏

パサージュ・たま運営委員会が主体となって取り組んでいるこの活動も6年が経過いたしました。

区民の皆さまとの交流や励ましの声は、当事者の皆さんの大きな喜びや力となっています。参加している当事者の皆さんに励ましの声をかけていただけたら幸いです。その力を以て、「パサージュ・たま」は、更に素晴らしくなっていくことでしょう。

保健福祉センターも運営委員会と協力して障がいに関する理解と関心が深まるよう努めています。区民の皆さま、是非お立ち寄り下さい。

の成長にも大変役立って
おります。お越しの際は
お気軽に声をおかけくだ
さい。



NPO法人たま・あさお 精神保健福祉をすすめる会 川崎きた作業所

川崎きた作業所は、昭和
62年に開設し、今年で2
5年目を迎えます。

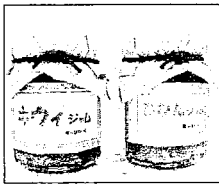
手芸製品作りやレクリ
エーション、昼食作りなど
を通して、地域の中で自分
らしい生活をおくること
を目指して活動していま
す。

毎月一回開催される「パ
サージュ・たま」では、職
員と利用者が参加し、手芸
製品の展示販売をしてい
ます。利用者からは、「自
分が作ったものが売れる
と嬉しい」「励みになる」
などの感想を聞いていま

す。
これからも、地域の皆様
の温かいご支援をよろし
くお願いします。



NPO法人たま・あさお 精神保健福祉をすすめる会 はっぴわーく



はっぴわーくは、軽作業、
清掃作業、ジャム製造・販
売などの作業の場を提供
し、生活の充実を図る事を
目的に活動しています。ジ
ヤム作りは、地元の梨園さ
んにご協力頂き「美味しく
て安心して食べられるジ
ヤム作り」を目指して始め

ました。パサージュに定期
的に出店させて頂く中で、
「前回食べておいしかった。」とお客様から声をか
けて頂くこともあり、地域
の方とのふれあひも楽し
みに参加させて頂いてい
ます。

KFJ多摩 はなもも はなみずき

KFJ多摩では、「はな
もも」から手芸作業グル
ープの布製品やビーズア
クセサリーを販売してい
ます。利用者の方々は日々
作品作りに取り組んでい
ます。「はなみずき」から
は「パン工房ア・レーズ」
として毎回パンの販売を
させて頂いて頂いています。
いつも御好評いただき大
変嬉しく思います。今後も
パサージュ・たまを通じて
より多くの方と交流でき
るよう頑張っていきたい
と思います。



ともかわさき あかね

あかねは、自主製品とし
て陶芸マグネット・布巾・
牛乳パック再生ハガキの
製作を行っております。
障がい者の方々の「日中
活動の場」として御利用頂
いている場所です。

パサージュ・たまでは、
利用者の方々が製作した
製品の販売や地域の方々
との交流を行っております。
あかねの利用者の方々
は、他の団体の方とお話を
したり、自主製品の購入や
地域の方との交流を楽し
んでおります。

今後も「パサージュ・た
ま」に参加させて頂き、あ
かねの紹介をより多くの
方々に紹介していきたい
と思います。

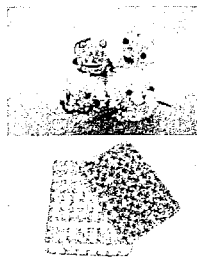
ともかわさき なしの実

なしの実は、主に手漕ぎ

和紙によるハガキの製作
を行っています。

昨年引き続き「パサージ
ュ・たま」に参加させてい
ただいていますが、地域の
方々との交流を通じて、な
しの実の活動と利用者さ
ん達が作った製品を知っ
ていただくとてもいい機
会だと感じています。参加
している利用者さんも、と
ても楽しそうにしていま
す。今後も参加の機会を多
く持ち、なしの実の活動を
PRしていきたいと思っ
ています。

多摩川の里 身体障害者福祉会館



身体しよがいをお持ち
ちの方が通所され楽し
く活動しています。活動内
容は、身体機能維持のため
の機能訓練やクッキング、

社会福祉法人なごみ福祉会 多摩川あゆ工房



「パサージュ・たま」で
は、自主製品の焼き菓子
(パウンドケーキ、クッキ
ー)の販売を行っています。
地域の方とふれあひなが
ら販売ができる貴重な機
会として、毎回参加させて
いただいています。

いつもお客さまが「おい
しいよね、あゆのクッキ
ー」とお声を掛けてくださ
います。利用者も職員も嬉
しくて「またがんばろう」と
元気になります。
次回もまた張り切ってケ
ーキとクッキーを焼いて
いきます。どうぞよろしく
お願い致します。

社会福祉法人なごみ福祉会 夢花工房

私たち夢花工房は、障害
の有無や違いにかかわら
ず、誰もが地域で生き活き
と生活できるよう、さまざ
まな活動を行っています。理
念は「共に生きて共に育
つ」。利用者の方たちと共
に人として成長を目指し
日々頑張っています。
利用者の心温まる製品
を通して、少しでも皆様に
楽しい時間を感じて頂け
たら幸いです。

NPO法人機風会(Cふうかい) クラフト ヌフリトック 「旧・工房登戸新町」



利用者さんのもとより、
スタッフ・職員が安心して
活動しやすい作業環境を
第一とするために、新規一
軒・新法人を立ち上げまし

た。

「ヌフリトック」：聞き
なれない？ 言いにく
い？ かもしれませんが、
「登戸」の語源(縄文語・
アイヌ語)を引用させてい
たごまきです。

まずは今一度、初心に立
ち返って、機械の良さを
地域の皆様を知っていた
だけたらと思つています。
利用者さんの個性と感性
と想いを織り込んだ製品
を、お手元におひとつか
いでしようか！

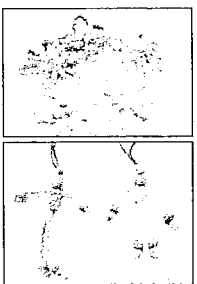
NPO赤いふうせん 工房和丘

小型のはた織り機で綿
糸や毛糸を使った布の制
作をしています。最近では
ポーチケ、コースターなど
の縫製作業に利用者も参
加しています。

お客様のアドバイスを
励ましながら、作品の質の向上
や新しい製品作りに繋が
り、出店時の利用者の楽し
みにもなっています。

「パサージュ・たま」へ
の参加は、多くの方々の
交流もあり、社会人として

パサージュ・たま 参加団体の活動 NPO法人いっぽいっぽ いっぽ舎



いっぽ舎は、開所から三
年が経ち、多くの利用者が
通う日中活動の場となり
ました。ここでは、不慮の
事故や脳卒中等の後遺症
で記憶・注意障害等の高次
脳機能障害を併せ持つ身
体障がい者の方を中心に、
創作活動や様々なクラブ
活動を通して、楽しみなが
らリハビリや体力作りを
行っています。今後もパサ
ージュ・たまを通して、活動
状況や作品を紹介してい
きますので、ぜひご覧にな
ってください。

NPO法人いっぽいっぽ 多摩ワークショップ

多摩ワークショップは、不
慮の事故による脳外傷や
脳卒中等の後遺症、難病な
ど、身体を中心とした障が
いを持つ方が通つていま
す。日中活動の拠点として
自主製品の製作やリハビ
リ活動等を行い機能向上
を測つたり、「パサージ
ュ・たま」などの活動を通
し地域の方々との交流も
大切に行っています。「みん
な的一步が私たちの一歩」
を合言葉に幅広い活動が
出来る場所として、今後も
頑張っていきたいと思っ
ています。



参加団体一覧

特定非営利法人いっぽいぽ いっぽ舎 http://www7.ocn.ne.jp/~ipposya	〒214-0014 川崎市多摩区登戸369 第1ふじたけマンション103 電話/ファックス 299-8483
特定非営利法人いっぽいぽ 多摩ワークショップ http://w01.tp1.jp/~a241052401/	〒214-0014 多摩区登戸374 メゾン・ド・フォーレ101号 電話 911-0488 ファックス 911-0458 メール npo-ippoippo-twshop@nifty.com
社会福祉法人なごみ福祉会 多摩川あゆ工房 http://www.nagomi-fukushi.or.jp/	〒214-0012 多摩区中野島4-3-28 電話/ファックス 911-1315 メール ayu-kobo@giga.ocn.ne.jp
社会福祉法人なごみ福祉 夢花工房ばいばい http://www.nagomi-fukushi.or.jp/	〒214-0012 多摩区南生田4-12-5 電話/ファックス 976-6481
NPO 法人 織風会(しふうかい) クラフト スプリトック 【旧・工房登戸新町】	〒214-0013 多摩区登戸新町347 電話 935-2678 ファックス 819-8080
特定非営利活動法人 赤いふうせん 工房和丘	〒214-0013 多摩区宿河原2-32-8 電話/ファックス 911-8114
NPO法人たま・あさお 精神保健福祉をすすめる会 川崎きた作業所	〒214-0014 多摩区登戸2959 電話 922-6628
NPO法人たま・あさお 精神保健福祉をすすめる会 はっぴわーく	〒214-0014 多摩区登戸2959 電話 299-6367
KFJ多摩 はなもも・はなみずき	〒214-0014 多摩区登戸2249-1 電話 930-4571
社会福祉法人ともかわさき あかね	〒214-0011 多摩区布田29-30 電話 948-1203
社会福祉法人ともかわさき なしの実	〒214-0034 多摩区三田2-3256 電話 930-5170
川崎市 多摩川の里 身体障害者福祉会館	〒214-0012 多摩区中野島6-13-5 電話 935-1359 ファックス 935-1706
多摩みりの会	〒214-0014 多摩区登戸304番地ドメス向ヶ丘遊園 303「高橋」宅 電話 932-0263
社会福祉法人 はぐるまの会 はぐるま共同作業所	〒214-0004 多摩区菅馬場1-18-17 電話/ファックス 945-0884
社会福祉法人らばおの樹 kokonara	〒214-0012 多摩区南生田4-20-4 電話/ファックス 975-1717
多摩区地域自立支援協議会 http://www.city.kawasaki.jp/tama/page/0000054346.html	〒214-0014 多摩区登戸1775-1 多摩区役所高齢・障害課 障害者支援担当 電話 044-935-3302
社会福祉法人 川崎市多摩区社会福祉協議会	〒214-0014 多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2階 福祉パルたま 電話 935-5500
多摩区身体障害者児団体協議会	〒214-0014 多摩区登戸1775-1 多摩区役所高齢・障害課 障害者支援担当 電話 044-935-3302



創作活動、外出の他、送迎、入浴、給食の各サービスの提供なども行っています。パサージュ・たまには、不定期で布マットやぼんぐるみなど自主製作品を出品、パネルで施設紹介もしています。

多摩みりの会

私達は、脳血管障がい者等の自主グループです。パサージュたまに年4回参加しています。活動の様子と絵手紙を、展示しています。是非、見に来て下さい。また、ご感想など頂けたら幸いです。お待ちしております。

はぐるま共同作業所



「はぐるま」は主に知的障がいのある方たちが働く作業所を4か所、生活の場となるケアホームを10か所を運営しています。30年近く皆様にご愛用いただいている「きょうされんふきん」やエプロン、畑作業グループが無農薬で作った新鮮野菜などを販売しています。パサージュ・たまでは、これらの製品を宣伝するとともに、自分たちで作った製品を通して地域社会に参加し、活動を知ってもらおう大切な機会です。みなさまでお立ち寄りいただけるとうれ

社会福祉法人らばおの樹 kokonara

kokonaraは、様々なハンデイを持った人が、住み慣れた地域の中で、人としての尊厳が守られ、「こころなほ安心して生活できる、それぞれのニーズが満たされる」そのようなことを目指して活動を行っています。

自主製作品はメンバー1人1人が何回も試作を繰り返して、完成させた自信作です。パサージュ・たまでの販売は、施設の紹介や製品のお披露目ができるとても良い機会となっています。是非お立ち寄りいただければと思います。



多摩区地域自立支援協議会

地域自立支援協議会は、関係機関のネットワーク

構築や社会資源開発、サービス利用調整を柱に活動しており、23年度より当事者及び家族も参加し、いろいろなことを共に考えていくスタイルとしました。当事者の声を活かした災害時「おたすけカード」の作成、軽度知的障がいのある方の集まり「みんなであふれ」を開催するなど多摩区独自の活動をしており、これからの活動状況や新しい情報をお伝えしていきます。ホームページを開設しましたので、是非ごらんください。

多摩区社会福祉協議会

地域の皆様と一緒に「誰もが住みやすい福祉のまちづくり」を目指して、様々な事業を展開しています。

また、地域福祉活動の拠点施設である「福祉パルたま」や、高齢者のふれあいや生きがいづくりの場として活用されている「老人いこいの家」の管理運営を行っています。

多摩区社会福祉協議会のホームページに事業内容や活動について記載していますので、是非ご覧下さい。
<http://www.kawasaki-sha.kyo.jp/tama/>

多摩区身体障害者児団体協議会

身体障害者児団体協議会は、多摩区において活動する、①多摩区肢体障害者福祉協会、②NPO法人視覚障害者福祉協会多摩支部、③多摩区聴覚障害者協会、④多摩区肢体不自由児者父母の会で構成されています。各団体の自主性を尊重するとともに、共通の問題を討議し、その特殊性を理解し、相互の親睦を高めながら、社会的地位の向上と福祉の増進を図ることを目的として活動しています。主な行事は、①研修、②日帰りバス旅行、③代議員総会。設立は1976年です。

たまっ子 育成会議報告

平成 24 年度の区の実態調査では乳幼児の保護者の 4 人に 1 人が孤立感を感じており、子育ての悩みや不安を 8 割の人が抱えている状況が明らかになり、平成 25 年度に「多摩区子ども支援基本方針（たまっこプラン）」を改定しました。

より多くの人に「多摩区子ども支援基本方針（たまっこプラン）」の周知を図るとともに、地区単位の子育て支援関係機関・団体や行政が、各々の活動や役割の理解、地区の課題の共有を行い、支援者同士が顔の見える関係を築き連携を深めていく機会として、南西部地域、東部地域、菅地域 の 3 地域で「たまっ子育成」会議を開催しました。

・開催日時・場所▶

南西部地域(生田)：平成 26 年 7 月 15 日(火) 14:30~16:30 生田出張所
 東部地域(中野島・登戸・宿河原等)：平成 26 年 9 月 10 日(水) 15:00~17:00 多摩区役所
 菅地域(菅)：平成 26 年 9 月 17 日(水) 15:00~17:00 至誠館なしのはな保育園

・参加団体・機関・行政▶

地域子育て支援活動団体、地域子育て支援センター、NPO 法人、多摩区民生委員児童委員協議会、主任児童委員部会、公・民保育所、幼稚園、小・中学校、小・中学校 PTA 協議会、多摩区青少年指導員連絡協議会、多摩区子ども会連合会、子ども文化センター、かわさきさくら児童家庭支援センター、社会福祉協議会、地域療育センター、多摩区役所保健福祉センター（児童家庭課、地域保健福祉課）、多摩区役所（生涯学習支援課、子ども支援室）等

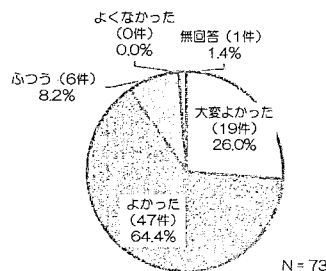
・会議内容▶

- (1) 「多摩区子ども基本方針」改定版について
 - ・実態調査から見える多摩区の子育て支援の課題
 - ・地域の子育て支援の取組
 - ・子育て世代の思い（実態調査の自由意見から）
- (2) 地域での子育て支援について意見交換
 - ・地区で取組んでいる子育て支援活動について
 - ・日頃の子育て支援活動紹介、活動をしていて「よかったこと」「うれしかったこと」、いま気になっていること
 - ・これから課題だなと思われること

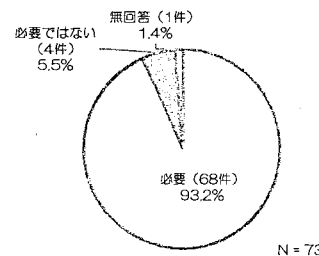


参加者アンケート集計

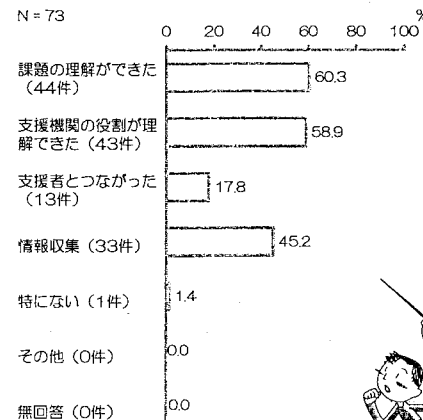
問1 本日の会議はいかがでしたか。



問3 今後もこのような会議は必要ですか。



問2 今後の活動にあたって役にたったことがありましたか。



* N : 回答者数

まとめ

*キーワードは「子育ての孤立感への支援」「子どもの居場所づくり」「支援のつながりづくり」各地域の会議から、三つの課題がキーワードとしてあげられました。

*この会議の必要性の確認

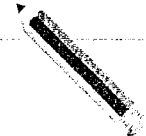
分野別・年齢別や職員の異動等による分断を乗り越え地域の一体性をめざしたこのネットワーク会議の必要性を確認し、今後も情報・課題の共有や検討を行っていくことになりました。

*今後の検討内容

今回出された課題をさらに深めていくほか、「必要時の実際の連携の進め方」「地域でできる事・できない事を明確にしつつ、どんな支援や連携体制が取れるのか」等についても希望が出されました。

↓
 今後も地域の子育て支援者同士の顔合わせやつながりづくりの機会とするとともに、次年度以降も本会議を開催し、子育てを見守る地域づくりを目指します。

多摩区子ども支援基本方針(たまっこプラン)改定版



たまっ子育て会議の意見



- 小学生では、わくわくプラザに来る子どもが増えていました。ということは、放課後にどこで遊ぶべよいかということがわからない子どもの居場所になっています。子どもを過ごさせる場所の選択肢の1つになっています。

子どもの居場所づくり

- 今の小学生を見ていて、公園が少なくサッカーや野球ができないので家に居てゲームで遊んでいることが多いのかと思います。もう少し自然な遊び場が残っているのであれば、開放したほうがいいのではないかと思います。

- 小学生が遊ぶ場がないということは切実です。サッカー、野球というわかりやすいところに子どもたちは走っていきます。遊びだけではなく、困ったことが起こったときは一緒に考えながらやっています。

- 不安を抱えていてどこかに依存をしていない、居場所を探している状態のお母さんもいて、とても不安のなかで子育てをされているという方が私たちの施設に来る方のケースの方がほとんどです。



- 子育てに熱心な方は結構保育園に足を運んでくれる方は多いのですが、日頃孤独に家に行っちゃる方をどうやって引き寄せることができるかが気になっていきます。



- 小学校の中でのいろいろな問題を起したり、友達とうまくいかない子どももいます。遊びの中でその子の良さを見つけられると、お母さんたちもほっとします。

- 民生委員の仕事は初めてですが、なるべく近所で会う小さい子どもに声をかけたり、小学生がかけるときに声を掛けたりしています。まだまだこれからどのようなことをしていけばいいか、分かりませんが、このようにいろいろな仕事の方たちが全体で子どもを見守る事業は本当にいいことだと思います。

- 嬉しかったことは、娘の同級生が、お父さんを連れて「ままばば」に来てくれて、時代の流れとともに、自分の孫のように思い、見守らせていただいています。
- 家庭教育学級などをやってきましたが、以前はすぐ母親同士が友達になり、講座が終わる頃には自主的にグループを作っていました。近年は職員からいろいろな仕掛けをしており、仲間づくりが仕事になってきています。母親同士のコミュニケーション能力もいろいろ課題であると思います。

支援のつながりづくり



- この地区はとてもお父さんが多く、皆さんに声を掛けています。皆さんが出る時間や、帰る時間に出てきて、声を掛けています。そうすると向こうもだんだんと自然に挨拶することができるようになってきて、こんなことが民生委員にとって大事なのだなあと感じることができました。

- 「なのはな」に携わっていることとさまざまな会議に出席しましたが、いかに多くの人達が子どもを支えようとしているのを知ることができました。それだけ子ども達に、関わろうとしている、みんなで育てようとしているという熱意を感じることができました。

- 「なのはな」は民生委員だけでなくシニアの方の応援も得て、世代間を越えた暖かい場ということで、行なわれています。
- 子どもの安定は親の安定であり、学校で不安を抱えている親の話を聞いていくには限界があるので、内容に応じていろんな機関に繋げて支援をしていかなければいけないかと思いました。

- 日常の繋がりがっているのに対してあまり重要度を考えないで、子どもには刺激が必要だからと言って子育て支援センターを回っている方もいます。この時期は親子関係をしっかり作ることが重要だと思います。そのためには、イベント的なものよりも、「日常的なつながりが大事なのです」ということを親子に伝えていかなければならないと思います。

- 園庭でも遊ぶので長い時間過ごす方も多そうです。相談への第一歩を踏み出せない方もいるので、お便りを発行して広報しています。
- 地域の中で孤立したお母さんが出るべく意識して、お母さん同士が上手く交流できるようにしています。

- 地域の子どもの支援を中心に保育園の中で仕事をさせていただいていますが、その中で、母親達は悩んでいたりと、仕事を持って子育てしている母親達とは違う悩みが深いと感じています。



子育ての孤立感への支援

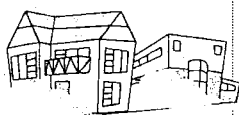
- 私たちが感じているのが妊娠期のケアが大事なのかな。そういうお母さんはすごく妊娠のときから不安を抱えていて、産まれたらどうしようという不安で向き合っているから勉強しています。どこかで温かく、こっちはよと言ってあげないといけないです。言葉だけでなく、手をとってそこまで繋げてあげるといったことをしないと、私にはできないなと思ってしまい、もっと孤独が深くなってしまいます。

- 母親達もシニアの方の関わりを求めており、落ち着いた感じで子どもを褒めてもらえると、子どももにっこりするし、母親も穏やかな顔になります。また、地域で声をかけてもらうと孤立感は減ってくるようです。

- 赤ちゃん訪問についてですが、私たちが関わることは一部だと思いますが、一度でも訪問すると、次にどこかへ来たときに、声掛けがすごくしやすいです。地域で見守っていることをひと言も添えますし、子育てサロンなど、親子が集える場があることも宣伝できます。

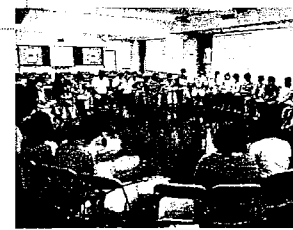
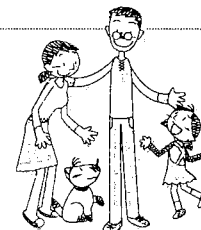
- 保健室で感じていることは、家族も仕事の関係で、子どもも仕事に合わせた生活リズムになり、就寝が22時以降と遅い子ども、朝食を食べない子どもがいることです。学校ではどうにもできない部分だと感じます。子どもたちが心配です。

- 子どもは親が育てるのが基本だとは思いますが、中には愛情を持って育てられない理由の子どももいるようです。高齢出産が問題になっていますが、低年齢での出産についてももっと考えるべきで、地域の支援が必要だと思います。



- 学校で困っていることは、保護者の孤立感ではないですが、困ったときに誰に相談できるのか、そのようなものが少ないということを感じます。

- 子育てひろばやサロンなどに、参加している母親達の幸せそうな顔を見るたびに、来られない方はどうしているのかと思います。



※ その他に多くのご意見をいただきましたので、掲載している意見は一部のもです。また、掲載されている意見と写真は整合をとっているものではありません。

求む!

助っ人

たまプレ@三田・生田を応援して下さる方 大募集!!
「こんなことが手伝えるよ」という方はいませんか?

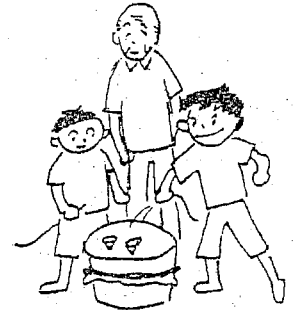
広報



- ・お友達にチラシを配る
- ・お住まいのマンションや自治会の掲示板使用をお願いする
- ・自宅フェンスなどに掲示
- ・チラシ・ポスター作り ... など

遊び

- ・昔遊びを知っている
- ・絵本の読みきかせ
- ・一緒に楽しく遊びたい
- ・遊びを見守りたい ... など



物品

- ・当日現地で準備・片付け
- ・物品の一部を自宅に保管できる・運搬作業
- ・段ボール箱、牛乳パックを持参できる ... など

・・・この他にも、活動資金を集めるため、もやい市の出店も考えています。
一糸着にやってくる方を求めています。 三田地域のフリーマーケット

もしよろしければ" 記入し、受付スタッフにお渡しください。
お手伝いいただける項目にマル印を。 お名前
広報 ・ 遊び ・ 物品 連絡先

たまプレ@三田・生田

遊び場からつながろう、広げよう

思い切り 外遊び

日時 平成 27年

3月1日(日)

午前 10:30 ~ 16:00 雨天中止

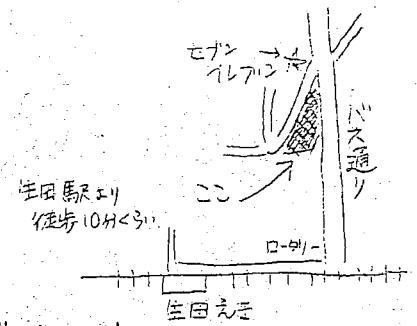
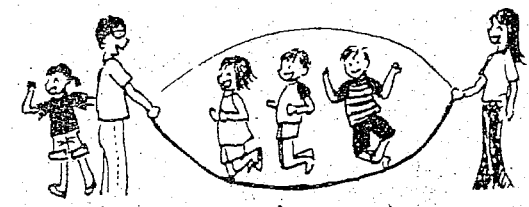
場所 まむし公園 (三田第2公園)

対象 じなたでも☆ 乳幼児・小・中・高・大学生・社会人
お父さん・お母さん・シニアの皆さんも。

申込みなし(直接来てください。) 参加費なし

主催 たまプレ@三田・生田 (多摩区でプレパークをやっちゃおう会
問合せ先 080-3426-9003 山本 @三田・生田)

協力 三田台自治会
多摩区こどもの外遊び委員会

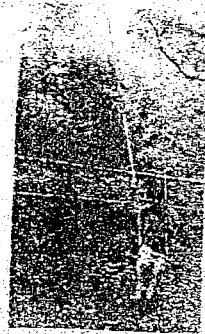


詳しい内容は次のページにあります。

お弁当・水筒・着替え・タオルを持ってくると、いっぱい遊べるよ。

思いきり 外遊び

緑あふれる
豊かな自然の中で
自由に遊ぼう。
子どもも大人も
楽しいよ。



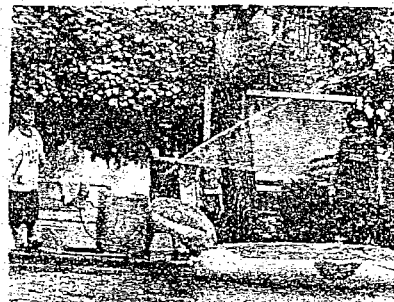
いりー
アラコ



自分で作った弓矢で遊ぶよ。



ロープを張って、この上を渡るんだよ。



ダイナミックに水あそび



じゅくりと水あそび



子どもも木工作に挑戦

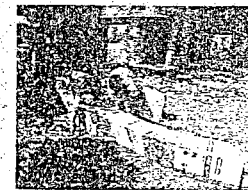


たまプレ@三田・生田

～遊び場からつながろう、広げよう～

私達は「子ども達がのびのびと遊べる場を地域の皆さんと一緒に作ってゆきましょう」というボランティアグループです。2012年4月に発足しました。
「多摩区 子どもの外遊び委員会」、中野島の「たまプレ」、三田地区の町会の皆さんにご協力いただきながら活動しています。

地域の公園などへ 遊びの事前



木材・工具・ダンボール・シャボン玉・ロープ・ペーゴマ...

子ども達は、思い思いに遊んでいます。また、用意された物や道具を使う以外にも、やりたいことをして自由に遊んでいます。



けがと弁当は自分持ち

「〇〇禁止」のような先回りした禁止事項は設けません。子ども自身が予測できない危険（ハザード）には大人が配慮します。子どもが体験をして学んでいく多少の危ないこと（リスク）には、大人は口や手を出さないように心がけて子どもの体験を見守ります。

地域でつながろう

私達は、子どもだけでなく幅広い世代の方が交流できる場をつくっていきたくと考えています。関心のある方は、どなたでもいらっしゃってください。ご一緒に地域の交流の場をつくっていきませんか？ちょっとしたことでもお手伝いして下さる方が増えると嬉しいです。

たまプレ@三田・生田

080 - 3426 - 9003 山本(ヤマモト)

080 - 5466 - 5294 奥川(オクカワ)

どなたでも遊びにきてね!



今年の開催予定日 ☆ 3/1・6/7・9/6・12/6 (いずれも第1日曜日) P13

一緒に「あーそーぼー!!」

昔子どもだったパパ、ママ、おじいちゃん、おばあちゃんへ
～外遊びのおさそい～

中野島で10年、子どもの外遊び活動を続けているたまプレ(多摩区でプレーパークをやっ
ちやおう会)が、このたび「@宿河原」を立ち上げました。ぜひ遊びに来て下さい!

★企画★

50人鬼ごっこ!!

みんなでいっしょに

11時くらい～ 子どもも大人もみんなで走り回ろう!

おえかき・
紙ヒコーキなども
やっているよ!

普段はなかなか勇姿を見せる時間がないけれど、
たまにはパパが子育ての主役になろう!
ゲームじゃ負けちゃうけど外遊びなら負けない!
子どもはカッコいいパパがだ～いスキ★

外遊びはそうぞう力(想像?創造?騒々?!)、自主性、協調性を
育む大切な子育ての場
本来子どもは遊びの天才!
なんにもなくても、
なんでも遊びにできちゃうんです。
最初はなんにもできないかもしれないけれど
パパ・ママや周りの大人たち、友達との関わりの中で
我が子の天才スイッチがONになっちゃう瞬間に
出会ってみませんか!



3月8日(日)

日時: 毎月第2日曜日(次回は

10～14時(出入り自由)

場所: 川崎市緑化センター 雨天中止、小雨決行

対象: 赤ちゃんから大人まで

申込: なし(直接会場に来て下さい)

参加費: 無料

主催: 多摩区でプレーパークをやっちやおう会@宿河原

協力(広報・物品貸出等): 多摩区こどもの外遊び委員会

問い合わせ: tamapure2004@gmail.com

070-6573-7849(ハマダ)

